

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立小中一貫校三瀬校小学部
-----	-----------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究では、1人1台端末の活用を通して、児童一人一人の深い学びを実現するための授業実践をし、全職員が研究授業を行うことができた。今後も、1人1台端末の効果的な活用の在り方を探っていきながら、9年間の学びのつながりについて研究を深めていく。 ・「基本的生活習慣の定着」「運動習慣の定着や望ましい食習慣の育成」「学力の向上」など、家庭と連携を図りながら、児童が自ら意識して、主体的に取り組む力を育成していく。 ・地域や家庭、中学部と連携して、三瀬の地域・自然・地域人材を活用し交流しながら学習や行事を進めてきた。継続して、三瀬を愛する心を高めるとともに、コミュニケーション力、表現力の向上を目指していく。
------------------	--

2 学校教育目標	ふるさとを愛し自信と誇りをもち、未来を拓く子どもの育成 「学び・こころをつなぐ小中一貫教育の実践」
----------	---

3 本年度の重点目標	①9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の取り組み ②志を高める教育の推進 ③学力の向上（基礎・基本の充実）と主体性・自主性の育成 ④一人ひとりを大切にする教育の推進 ⑤豊かな心を育む教育の推進 ⑥健やかな体を育む教育の推進
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)					
●学力の向上	○主体性の基盤となる自主的な活動の設定 ○説明する活動を取り入れた授業実践	○学習の方法や取組む順番等を選択させるように心がけた教師60%以上 ○交流活動の中で自分の考えを説明できる児童80%以上	・発達段階に応じて問題数や取組む順番等を児童に選択させる場を設定する。 ・実態に応じた集団、教具で活動させ、説明する活動を充実させる。				
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「道徳の授業で、進んで考えることができた」と答える児童の割合を80%以上 ○「道徳の授業によって豊かな心を育てている」と答える保護者の割合を80%以上	・道徳の授業づくりの工夫を行うとともに、保護者アンケートを実施して、指導改善に役立てる。 ・道徳の授業を年に1回以上保護者に公開する。				
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○心のアンケートで「子どもの様子について不安なことはありませんでしたか」の問いに、「ない」と答える保護者95%以上。「嫌なことや悲しかったことがなかった」と答える児童95%以上とする。また、アンケートから得た事案については100%対応する。	・毎月、保護者・児童全員に対し、「いじめのちを考える心のアンケート」を実施し、気になる事案があれば直ちに対応する。 ・児童支援、学級経営を円滑に行うため、QUTテストおよび教育相談週間を2回実施する。				
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていてと思う」と回答した児童85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童80%以上	①児童のよさが発揮できる教育活動を行っていると思うし、よさをほめる。 ②キャリアパスポートの内容を工夫し、自身の実情や成長を自己評価したり、振り返りたりすることができるようにする。				
	○人権・同和教育の充実	○「いやなことや悲しいことがなく、学校は楽しい」と答える児童の割合を80%以上	・「ほかほかの木」(よいところ見つけ)を実施する。 ・学期に1回、人権教室や人権集会を実施する。 ・異学年集団による毎朝の登校班や縦割り班活動を実施し、児童間の交流を図る。				
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ②「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ③「安全に関する資質・能力の育成」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で300分以上の児童生徒80%以上 ②「健康に良い食事をしている」児童90%以上 ③児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。	①縦割り班での遊びの時間を定期的に設けるとともに、縄跳び大会等を実施する。休み時間の外遊びを推奨し、個々の健康維持と体力の向上を図る。 ②給食の時間等の指導を通して食育を推進していく。 ③年度の早い時期に交通安全教室を開催し、安全な自転車の乗り方や歩き方の実地で訓練を行ったり、地区児童会、集団登下校、学級活動の中で継続して指導したりする。				
	○基本的生活習慣の定着	○毎週、週のはじめに生活チェックを実施し、「ハンカチ・ティッシュを持っている」「爪を切っている」「朝ご飯を食べている」のすべてが○の児童を80%以上にする。 ○1日3回歯を磨く児童を80%以上にする。	・週1回生活チェックを実施する。 ・6月に歯みがきがきょうり週間を設定したり、長期休業中の歯みがきカレンダーを配布したりして、歯みがきの習慣化を図る。 ・歯科校医と連携し、歯と口の健康指導を実施する。				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・職員各自に時間外勤務の月平均35時間以内を目標に、互いの職務遂行の手立てを共有させることで、タイムマネジメントについて意識を高める。 ・会議の精選や時間厳守、簡潔な連絡を行う。また、会議や研修を効率よく進めるよう計画することで、教材研究、学級事務等の時間を確保するとともに年休取得につなげる。				
	○服従規律・心身の健康保持	○教師の自覚をもち、職務に専念した職員90%以上 ○チームワーク行動を意識した職員80%以上	・勤務指導0の日の年間計画に基づき、意識の継続を図る。 ・組織における個々の役割を明確にし、協働する組織づくりを進める。				
●特別支援教育の充実	○全職員による共通理解と校内支援体制の充実	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教職員80%以上	・特別支援教育に関する講師招聘職員研修を実施する。 ・ケース会議(スクラム会)を開催するとともに、学校支援会議を実施し、情報共有をすす				

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)					
○	◎ふるさと三瀬への郷土愛の育成	◎ふるさと学習を通して、「三瀬を好き」と答える児童を80%以上にする。	・地域人材を活用し、体系的なカリキュラムを実践する。 ・(生活科)まち探検などでの地域の人との交流を通して、ふるさと三瀬への親しみや感謝の心をもつ児童を育てる。 「体験活動、調べ学習を通して、自然・産業・歴史・環境に触れさせ、ふるさと三瀬を好きな児童を育てる。				
○	○小中合同行事の充実	○小中合同の行事、体験活動において「楽しかった」と回答する児童の割合80%以上を目指す。	・行事ごとに振り返りを書かせ、それを掲示板に貼り、交流を深める。				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------